

土砂災害から身を守るには

常日頃から「自分の命は自分で守る」心構えが必要です！

管内には、土石流危険渓流を192渓流、地すべり危険箇所を252箇所、急傾斜地崩壊危険箇所を714箇所抱えており、地質や近年の大雨の降り方を考えると、いつ、どこで災害が発生しても不思議ではありません。

★自分の周りに土砂災害の危険箇所がないか、先ず確認しましょう。いざという時のために次のことを心がけてください。



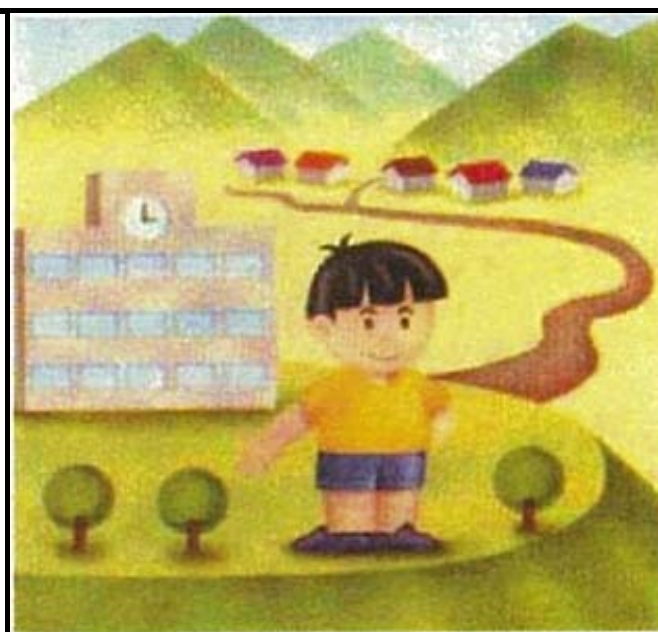
雨に注意しましょう

土砂災害の多くは雨が引き金になって起こります。長雨や大雨で危険だと思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20mm以上、または降り始めから100mm以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



逃げ方を覚えましょう

土石流は速度が速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土石流の流れる方向に対して直角の方向に逃げるようにしましょう。



避難場所を確認しておきましょう

日頃から家族全員で避難場所や避難経路を確認しておきましょう。災害が起きた時、家族全員が一緒にいるとは限りません。そのような時でも、あらかじめ避難場所を確かめておけば安心です。

★土砂災害では次のような前兆現象が見られます。日頃から注意し、このような現象を発見したら早めの避難を心がけ、最寄りの市役所支所や村役場・建設事務所・砂防事務所に連絡してください。

※ 土 石 流 ※



「山鳴り」といって、山全体がうなっているような音がる



川の水が濁ったり、流木が混ざっている



雨が降り続けているのに、川の水が減っている

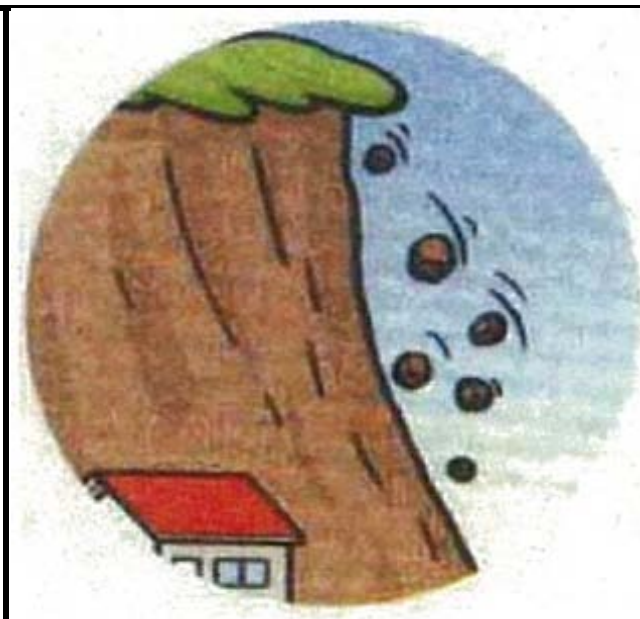
※ がけ崩れ ※



がけに割れ目ができる



がけから水が湧き出る



がけから石がパラパラ落ちてくる

※ 地 す べ り ※



地面がひび割れたり、一部分が窪んだり
あるいは盛り上がる



井戸の水が濁る



地面から水がにじみ出したり、池や沼の
水の量が急に变化する